

#06
文字列の操作
実習・課題内容
2022 年度 / プログラミング及び実習 III

角川裕次

龍谷大学 先端理工学部

課題・実習の提出先: manaba 「レポート」

manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと

注意

- ファイル名は指定の通りにすること
- ファイル形式は指定の通りにすること
- 守られていない場合は採点しない場合がある
(採点作業の軽減への協力を宜しく)

実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意

C 言語ソースコード (プログラムコード)

- ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの)
- (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど)

実行結果スクリーンショット画像

- ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など)
- スクリーンショット取得ツールを使用のこと.
- (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像)

考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察

- ファイル形式: テキストファイル (.txt)
- 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと.
- 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明
- (不可: Word や PDF など)
- (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない)

実習

p.263, List 9-7 (文字列の配列への読み込みと表示)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j06a.c (C 言語ソースコード)
- j06a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j06a.txt (説明と考察 300 文字以上),

p.264, List 9-8 (文字列の長さ)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

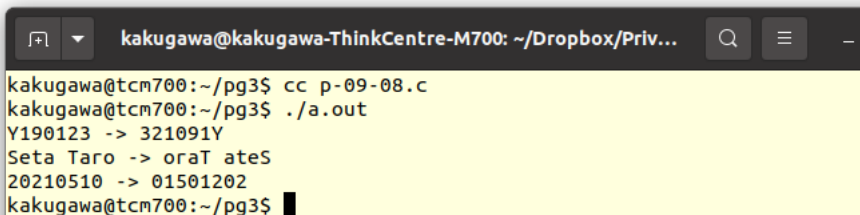
- j06b.c (C 言語ソースコード)
- j06b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j06b.txt (説明と考察 300 文字以上),

課題

p.267, 演習 9-8

文字列を後ろから逆に表示する関数を作成せよ. たとえば “SEC” を受け取ったら “CES” と表示すること.

- ソースファイル p-09-08.c として作成
- main 関数も作成して動作確認



```
kakugawa@kakugawa-ThinkCentre-M700: ~/Dropbox/Priv...  
kakugawa@tcm700:~/pg3$ cc p-09-08.c  
kakugawa@tcm700:~/pg3$ ./a.out  
Y190123 -> 321091Y  
Seta Taro -> oraT ateS  
20210510 -> 01501202  
kakugawa@tcm700:~/pg3$
```


課題 (説明のつづき)

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- k06a.c (C 言語ソースコード)
- k06a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- k06a.txt (説明と考察 400 文字以上),

ヒント: ソースファイルの超大雑把な構造

```
ヘッダをインクルード
void print_stringr(const char s[]) {
    文字列 s を表示 (参考のため)
    s を逆順で表示 (ここがやるべきところ)
}
int main(void) {
    print_stringr("Y190123"); /* 自分の学生番号 */
    print_stringr("Seta Taro"); /* 自分の名前にする */
    print_stringr("20210510"); /* きょうの日付にする */
    return 0;
}
```

おわり